

# 地球環境を守るかごしま県民運動に取り組んでいます

12月は地球温暖化防止月間です。身近な取り組みから始めましょう

## 地球環境を守るかごしま県民運動とは

- 目的 県民・事業者・行政が一体となって、日常生活や事業活動において、地球環境保全のための具体的な実践活動に取り組み、かけがえのない地球環境を守り育て、次世代に引き継ぐことを目的としています。
- 推進母体 事業者団体・民間団体・行政など約170の団体で構成する「地球環境を守るかごしま県民運動推進会議」を設置し、運動を進めています。

### エコライフデーに取り組みましょう

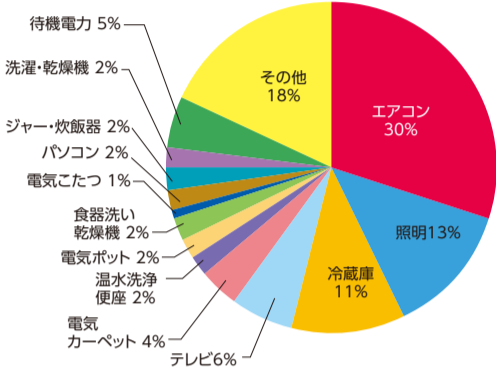
毎月5日を「エコライフデー」とし、月毎にテーマを決めて、家庭における冬の夕方(午後7時頃)の消費電力県民みんなで環境保全活動に取り組むことにしています。

#### エコライフデー 12月のテーマ 「環境にやさしい住まい方(節電)」

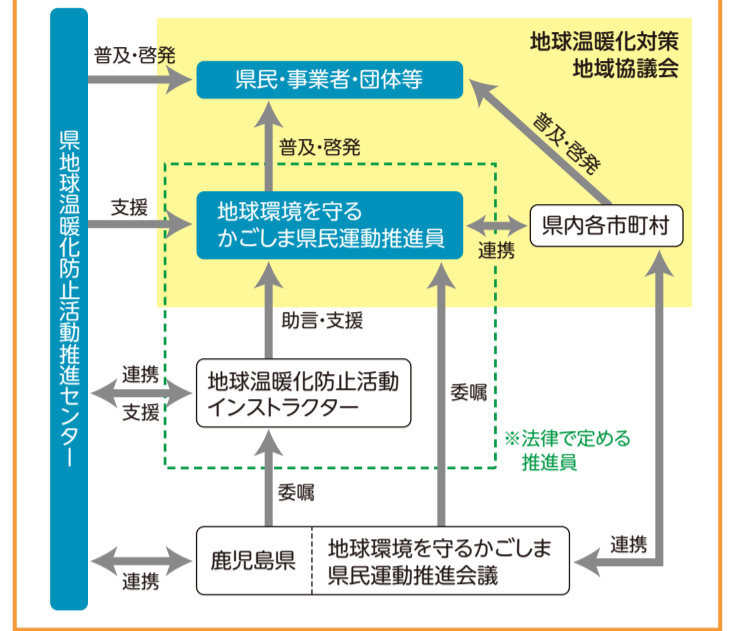
冬は、暖房器具などの使用により、電力の消費量が大きくなる季節です。家庭では、エアコン、照明、冷蔵庫、テレビなどに多くの電力が使われています。

#### 冬季の「省エネ・節電」にご協力ください。

- 特に節電をお願いしたい期間・時間  
12月3日～3月29日(12月31日～1月4日を除く)の平日午前8時～午後9時
- 省エネ・節電の取り組み例
  - ・重ね着をして、暖房の設定温度は20℃以下にする。
  - ・便座保温、温水の設定温度を下げる。
  - ・こまめな消灯を心がける。
  - ・リモコンの電源ではなく、本体の主電源を切り、待機電力を減らす。



### 地球環境を守るかごしま県民運動 体系図



森林には、地球温暖化防止の働きがあります。

「森林環境税」は、森林環境の保全や森林を全ての県民で守り育てる意識の醸成などに役立てられています。

- 〈森林をまもり森林をそだてる〉
- 健全な森林づくりの推進
  - 森林の適正な整備につながる県産材の利用拡大
  - 木質バイオマス有効利用の促進

- 〈森林にまなび森林にふれあう〉
- 森林・林業にふれあう機会の創出
  - 未来につなぐ森林環境教育の推進
  - 多様な主体による森林づくりの推進

※森林環境税の額  
・個人は、年額500円(個人県民税均等割の納税者が対象)。  
・法人は、法人県民税均等割額の5%相当額

問い合わせ先 県庁地球温暖化対策課 ☎099(286)2586

### 子どもエコクラブに参加しませんか?

幼児(3歳)から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブです。県内に41のクラブがあり、総勢1,542人が参加しています。年間を通していつでも登録ができます。(登録料・年会費無料)

かごしまecoネットホームページ「子どもエコクラブ」  
[http://www.inochi-kankyoku.jp/eco-net/start-eco/kids\\_ecoclub/](http://www.inochi-kankyoku.jp/eco-net/start-eco/kids_ecoclub/)

### エコ通勤割引パスを利用しませんか?

「エコ通勤」を推進するため、自動車通勤者(バイク・原付含む)を対象に、毎週水曜日にバス・市電の料金を半額(小人運賃)に割引く「エコ通勤割引パス」を無料で発行しています。

詳しくは、県ホームページをご覧ください。  
(ホーム > 社会基盤 > 道路・交通 > バス路線)



## 北朝鮮による拉致問題の一刻も早い解決を目指して!

1970年代から80年代にかけて、北朝鮮による日本人の拉致が発生し、現在本県出身の2人を含む17人の方が政府によって拉致被害者と認定されているほか、拉致の可能性を否定できない方が多数おられます。北朝鮮による人権侵害問題である「拉致問題」の早期全面解決に向けた各種取り組みに、県民の皆さまの温かいご支援とご理解をお願いします。

### 政府が認定した本県出身の拉致被害者



いちかわ しゅういち  
市川 修一さん  
(当時23歳)



ますもと るみこ  
増元 るみ子さん  
(当時24歳)

昭和53年8月12日、市川修一さんと増元るみ子さんは、「夕日を見に行く」と言って吹上浜海岸に出かけたまま行方不明になりました。

北朝鮮に拉致され、今年で34年を迎えましたが、いまだに帰国のめどが立っていません。

### 拉致問題啓発映画上映会および拉致被害者家族講演会 を下記のとおり開催します

**会場** 吹上中央公民館  
(日置市吹上町中原2568番地)

**日時** 平成25年1月19日(土)  
午後1時30分～4時

**内容** 講演会(午後1時40分～2時10分)  
「家族の絆」  
平野 フミ子氏(増元 るみ子さんの姉)  
上映会(午後2時20分～3時50分)  
「めぐみー引き裂かれた家族の30年」

**会場** リナシティかのや  
(鹿屋市大手町1番1号)

**日時** 平成25年1月23日(水)  
午後1時30分～4時

**内容** 講演会(午後1時40分～2時10分)  
「家族の絆」  
市川 健一氏(市川 修一さんの兄)  
上映会(午後2時20分～3時50分)  
「めぐみー引き裂かれた家族の30年」

### 拉致の可能性を否定できない本県関係の「特定失踪者」

氏名	失踪年月日	当時の年齢	失踪場所
羽生 弘行さん	昭和31年10月23日	38歳	熊本郡屋久島町
日高 信夫さん	昭和42年 9月	22歳	東京都台東区上野駅
佐藤 益一さん	昭和45年 6月15日	25歳	大阪府池田市を最後に消息不明
園田 一さん	昭和46年12月30日	53歳	曾於郡大崎町の自宅から宮崎空港へ向かう途中(園田一さんとトシ子さんはご夫婦)
園田 トシ子さん		42歳	
竹屋 恵美子さん	昭和49年 9月27日	18歳	兵庫県加古川市
種田 誠さん	昭和59年 5月	34歳	京都府
日高 満男さん	平成元年 2月23日	30歳	鹿児島郡十島村諏訪之瀬島周辺海域
田中 正道さん	平成5年 6月7日	44歳	千葉県習志野市
加藤 義美さん	平成7年 2月15日	51歳	熊本郡屋久島町宮之浦港

「特定失踪者」とは、民間団体である「特定失踪者問題調査会」が、「北朝鮮による拉致かもしれない」というご家族の届出などを受けて、独自に調査の対象としている公開失踪者のことです。

### 12月10日から16日までは「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」です

県では、写真パネル展の開催をはじめ、DVDの上映、チラシの配布、テレビ・ラジオなどにより、拉致問題の周知・啓発を行っています。

問い合わせ先 県庁社会福祉課 ☎099(286)2828